

奥羽大学報



空に向かってほほ笑む桜（薬用植物園）

目次

| | |
|---|----|
| 奥羽大学の理念・目的 / 新入生の皆さんへ | 1 |
| 特待生之証授与式 / 2023年度入学式を中止 / 歯学部新入生 オリエンテーション / 薬学部新入生オリエンテーション | 2 |
| 歯科医師国家試験 / 薬剤師国家試験 / 献体者合同慰霊式・実験動物供養 / 2023年度歯学部FD事業計画 | 3 |
| 奥羽大学歯学会の開催 / ちょっと寄り道 | 4 |
| 登院式 / 歯科医師臨床研修開始式 / 薬学部就職先一覧 | 5 |
| 「日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会 優秀ポスター賞」を受賞 / キャンパスの風景 | 6 |
| 学校法人晴川学舎 2022年度決算報告 | 7 |
| 新任教授紹介 | 8 |
| 同窓生のひろば | 9 |
| 奥羽大学学長裁量経費 / 科研費申請書のブラッシュアップ | 10 |
| 人事 | 11 |

174

通算 第299号

奥羽大学の理念・目的

理念

高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する。

目的

奥羽大学は、教育基本法（昭和22年法律第25号）並びに学校教育法（昭和22年法律第26号）に基づき、広く知識を養うと共に、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を育成し、国民の福祉と文化の発展に寄与することとし各学部のその目的は、次の各号のとおりとする。

1. 歯学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師を養成する
2. 薬学部は、高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな薬剤師を養成する

新入生の皆さんへ

学長 清 浦 有 祐

新入生の皆さん、ご入学誠にありがとうございます。今日から皆さんは歯科医師・薬剤師となるための第一歩を奥羽大学の学生として歩むこととなります。

本来であれば、皆さんに入学式のお話をしたかったのですが、新型コロナウイルス感染症は完全に収束しておりません。そのため、入学される皆さんの健康を考えて入学式中止させていただきました。

奥羽大学は、1972年に影山四郎先生によって東北地域初の歯科大学として創立され、今年で51年目を迎える歴史と伝統を有する医療系大学です。大学の理念は、「高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな人材を育成する」ことです。奥羽大学の教員一同は、この理念に基づいて皆さんが優れた歯科医師・薬剤師となるための教育を行っていきます。歯科医師も薬剤師も人の命に直結する極めて大切で価値ある職業のため、決して安易な勉強でなれるものではありません。しかし、安心してください。奥羽大学は、どこよりも教育熱心な教員がそろっている医療系大学です。授業が進む中で理解できない点があった際は、どうか積極的に質問をしてください。必ず教員はそれに答えてくれます。また、生活面での悩みや不安があった場合には、専門の心理カウンセラーによるカウンセリングを受けることができる体制も整備しています。

皆さんが真摯な気持ちで勉学に励んでいくこ

とで、高度な専門知識と技術を備えた歯科医師・薬剤師となることができます。しかし、本学の理念は単なる歯科医師・薬剤師を養成することではなく、「人間性豊かな人材を育成する」ことです。ここで求められている「人間性豊かな人材」とは、他人を思いやる気持ちがあり、一人ひとりの多様な幸せを相互に認める心を持つ歯科医師・薬剤師です。人が人として相互に互いの人格を認め合うために必要となるものが、礼節です。奥羽大学の出身者は、非常に礼儀正しいと言われてきました。これは皆さんの先輩方が残してくれた貴重な財産です。毎日の勉学に励むと共に礼節を持ったやさしい心の持ち主となって、本学の理念を体現した歯科医師・薬剤師として育ってください。

最後に皆さんへ、私が本学の学生諸君に機会があるごとに伝えている言葉を贈らせていただきます。それは、「貞観政要」という書籍に出てくる「三鏡」の中の「人の鏡」と「銅の鏡」です。貞観政要は、中国の唐の時代に編纂された有名な古典ですが、現在でも通用する名著です。まず、「人の鏡」とは、他人の厳しい言葉を受け入れて自分自身を変革することの必要性を意味します。これからの学生生活で、先生や友人から様々な意見を投げかけられることがあるかもしれません。それを素直に受け入れて自分を見つめ直してください。銅の鏡とは、鏡に自分を写した時に常に明るく元気な顔をしていることを確認することです。そして、日々の勉学では大きな努

力で小さな成果を上げることを意識してください。小さな努力で大きな成果ではありません。小さな努力で得られた大きな成果というものは砂上の楼閣のようなもので、すぐに失われてしまいます。

他人の意見を聞き入れる広い心と明るい笑顔があれば、そして日々の大きな努力を怠らなければ素晴らしい医療人となることができます。皆さんが、前途洋々たる人生を送ることを期待すると共に確信しております。

特待生之証授与式

本学では、2015年度に特待生制度を設け、2023年3月に特待生としての三期生が卒業した。

学費全額または半額免除の経済支援を受けた特待生は、歯科医師・薬剤師として地域医療を通じ社会に貢献してくれるものと期待される。

今年度の特待生之証授与式は、在学生ガイダンス期間中において各学年別に行われ、清浦有祐学長から「特待生之証」が授与された。特待生の資格は基準により最大6年間継続できるが、これまで大多数の特待生が継続している。

なお、1年生には4月5日(水)、新入生オリエンテーション終了後に授与された。

(特待生之証授与者数)

| | | |
|------|---------------|------|
| 第1学年 | 歯学部13名、薬学部13名 | 計26名 |
| 第2学年 | 歯学部20名、薬学部13名 | 計33名 |
| 第3学年 | 歯学部22名、薬学部13名 | 計35名 |
| 第4学年 | 歯学部19名、薬学部18名 | 計37名 |
| 第5学年 | 歯学部13名、薬学部18名 | 計31名 |
| 第6学年 | 歯学部22名、薬学部22名 | 計44名 |

2023年度入学式を中止

2023年度入学式は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。

本来であれば、4月4日(火)、本学に新入生と保護者を迎えて入学式を行う予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症は未だ収束していないことに加え、全国から参加者を郡山市にお迎えすることが感染リスクを高めると判断し、昨年度に引き続き中止とした。

入学式は、人生の中でも将来へ希望を繋ぐ節目にあたり、新入生、ご家族の皆様にとっては心待ちにしている行事であったが、来場者の健康と安全を考慮した上での決断であった。

歯学部新入生オリエンテーション

4月5日(水)から7日(金)の間、第3講義棟にて歯学部新入生を対象としたオリエンテーションを開催した。

4月5日には学長、歯学部長、学生部長の挨拶にはじまり、学年主任・クラス担任の紹介、学生生活関係、教務関係の説明が行われた。翌4月6日と7日には授業科目担当教員の紹介、学生部長から「歯科医師になるためのスタートライン－高度な専門知識と技術を備えた人間性豊かな歯科医師になるために－」、学年主任から「歯科医師が活躍する多様なフィールド」、そして心理学担当教員からは「仲間のことを知ろう！～コミュニケーションで大事にしてほしいこと～」と題した特別講義が実施された。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策下という制約の中での行事であったが、新入生からは、奥羽大生となった喜びと、歯科医師になるという決意を感じ取ることができた3日間であった。

薬学部新入生オリエンテーション

4月5日(水)、薬学部新入生オリエンテーションが実施された。4日に予定されていた入学式は中止となったものの、この日は新1年生と編入生が晴れやかな表情で大学生活のスタートを切った。オリエンテーションでは、学長、学部長、学生部長の挨拶や大学生活について説明が行われた。7日にはガイダンスとして、薬学部の3ポリシーの説明、履修ガイダンス、飲酒・喫煙・危険ドラッグに関するガイダンスなどがあった。

歯科医師国家試験

第116回歯科医師国家試験は、1月28日(土)と29日(日)に実施され、3月16日(木)に合格者が発表された。

本学は新卒受験者48名中31名が合格、全体で127名中49名が合格した。

薬剤師国家試験

第108回薬剤師国家試験は、2月18日(土)と19日(日)に実施され、3月22日(水)に合格者が発表された。

本学は新卒受験者78名中40名が合格、全体で171名中67名が合格した。

献体者合同慰霊式・実験動物供養

5月30日(火)午後1時から郡山市片平町霊鷲山常居寺にて、献体者合同慰霊式と実験動物供養が厳かに執り行われた。新型コロナウイルス感染症は5月8日から5類感染症へと変わったが、本学では感染対策に変更はない。そこで、今年度も新型コロナウイルス感染症への対応として、ご遺族や白菊会会員ならびにご来賓、第2学年全学生の参列は取りやめ、大学関係者と学生代表者のみで実施した。常居寺本堂にてこれまで献体された御霊に黙祷を捧げ、ご導師様の読経後、学長式辞、学生代表の出光陽さんによる追悼の辞、参列者焼香に引き続き、実験動物供養を行った。その後、慰霊碑の参拝および学内関係者と学生代表の岡野朔也さんによる献花をして終了した。

2023年度歯学部FD事業計画

- 1) 録画授業評価
- 2) 自己点検・自己評価の実施
- 3) WS「打倒国試」：科目毎に関連する113～116回国試必修問題をピックアップし、国試と2022年度担当した卒試必修問題がリンクしているかを確認、していない場合は今後どのように卒試で出題していくかを検討する。
- 4) 共用試験(CSX, CPX)の認定評価者養成WS→機構へ派遣
- 5) 教員研修講演会
 - 鏑原先生の「116総括」継続(4・5年YouTubeにて期間限定配信)
 - 共用試験機構からの講師派遣：タイトル「今後の共用試験について」
 - タイトル「卒業試験ブラッシュアップ時の分析、国試にマッチする必修問題作成のポイント」
講師 歯科薬理学 柴田達也先生 8月4日17:00～
- 6) すり合わせ参観の継続
該当：講師以上
内容：1～4年授業について1名につき1回、自身の講義している内容と重複する講義を選択し参観、指定用紙に参観記録を記入
- 7) 研修医WS「打倒117回」
WS実施方法：116回麻布結果から正答率が全国平均と10%以上差がついた問題について、「なぜできないか・解決法」を検討：4月28日(金)実施
- 8) アセスメントポリシー・シラバス説明会
(教務・カリキュラム委員会と併催)開催日程：2024年4月2日(火)
17:00～ 臨床講義室、対象：科目責任者、科目担当者
- 9) 卒業時アンケートの実施→対象者：2023年度卒業予定者
- 10) 卒後アンケートの実施→臨床研修医
- 11) 「学生による授業評価」前期・後期；対象 第1学年～第4学年

奥羽大学歯学会の開催

第73回奥羽大学歯学会が、6月10日(土)にオンライン形式で開催された。当日は、大学院生による4つの学位講演が行なわれた。研究内容は、口腔外科学及び歯科麻酔学分野のヒトを用いた臨床研究であった。これまで学位研究の多くは、動物実験や細胞株を利用した基礎的研究が多くを占めてきた。しかし、今後は時代の趨勢として、このような臨床的な研究課題が増加することが見込まれる。したがって、臨床研究を支える研究基盤をさらに充実させることが本学に求められている。

ちょっと寄り道! 聖徳太子の「憲法十七条」

歴史の教科書には必ず「憲法十七条」のことが出てくる。

ところで、ここには何が書かれてあるのだろうか。「憲法」と付くことから法律の条文でも？と思われそうだがさにあらずで、儒教、仏教の思想を調和し、和の精神を強調した君臣の道及び隣人の道徳を示したものである。「個」よりも「公の和」を優先する日本人の精神文化の屋台骨を築いたものと言えそうだ。今の時代にはそぐわないところもあるが、参考にしたいところもある。

1. 和を尊び、逆らい背くことのないようにせよ。君父、近隣の人みななごみ、睦み合い、事を論じて合意に至れば、事の道理は自然に通る。
2. 篤く三宝(仏、法、僧)を敬え。人は極悪である者少なく、よく教えると従ものである。
3. 詔を承ったなら、必ず謹んで従え。上が行えば下は従う。謹んで従わないならば自滅することになる。
4. 官人は礼を基本にせよ。上が礼なければ下は乱れ、下が礼を失えば必ず罪を犯す者が現れる。
5. 裁判の公正を期せ。
6. 悪を見れば必ず正せ。おもねり偽る者は国家を覆す利器である。
7. 人にはそれぞれの任務がある。任用に乱れがあってはならない。
8. 役人は早く出仕して遅く退出せよ。
9. 信義を重んぜよ。
10. 人が自分と違って決して怒ってはならない。人にはみな心があり、心にはそれぞれの考えがある。
11. 賞罰のけじめを示せ。
12. 役人は人民から搾取してはならない。
13. 役人は自分の職務内容を熟知せよ。
14. 嫉妬してはならない。自分が人を妬めば、人もまた自分を妬む。
15. 公私の別を厳にせよ。およそ人に私心があれば、必ず恨みが生じる。恨みがあれば協調ができない。
16. 民を使うのには時節を考慮せよ。
17. 大事は独断で決めてはならない。必ず衆人と議論せよ。

(新編日本古典文学全集3『日本書紀』小学館より抜粋) (A)

登院式

4月7日(金)、病院棟5階臨床講義室で歯学部第5学年53名の臨床実習登院式が行われた。大野敬附属病院長から、これまでの学習で不足している知識を補充していくことの必要性や、模型とは異なり、患者さんに対応する実習であることの注意点について訓示があった。学年学生委員長の目黒翔太さんが代表として、附属病院のルールに則って臨床実習を行うことを宣誓した。今後、各診療科でローテーション方式の実習が行われる。



53名が臨んだ登院式

歯科医師臨床研修開始式

4月1日(土)、歯科医師臨床研修開始式が中央棟6F教1にて挙行された。単独型研修プログラムA：10名、地域医療短期プログラムB：6名、地域医療長期研修プログラムC：2名の計18名の研修開始が大野敬附属病院長から許可された。

研修歯科医は、患者や家族の多様なニーズに対応でき、超高齢社会という現状の中で、歯科医師が担うべき社会的使命を認識し、地域医療に貢献できる歯科医師となるべく、生涯研修の第一歩を踏み出した。



歯科医師臨床研修開始式

薬学部就職先一覧 (2023年3月卒)

【病院】

独立行政法人国立病院機構 北海道東北グループ・関東信越グループ、横須賀市立市民病院、公立大学法人福島県立医科大学附属病院、社会医療法人福島厚生会福島第一病院、医療法人社団常仁会牛久愛和総合病院、一般財団法人とちぎメディカルセンター、一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院

【薬局】

株式会社アインホールディングス、株式会社エヌ・エム・アイ、M2ファーマシー株式会社、株式会社オオノ、ひかり薬局、フジ薬局、ひまわり薬局、薬樹株式会社、いまいメディカルグループ、株式会社ユニスマイル

【ドラッグストア】

株式会社クスリのアオキ、株式会社ハシドラッグ、株式会社カワチ薬品、株式会社サンドラッグ、中部薬品株式会社、株式会社ツルハホールディングス、ウエルシア薬局株式会社、株式会社クリエイトSDホールディングス

【その他】

東北アルフレッサ株式会社、福島県

「日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会 優秀ポスター賞」を受賞

薬学部医療薬学分野6年生佐藤翼さんが、6月10、11日に開催された日本病院薬剤師会東北ブロック第12回学術大会で優れた研究成果に対して授与される優秀ポスター賞を受賞した。受賞演題は「抗微生物活性を有する市販栄養輸液とその効果の検証」（指導教員：大原宏司准教授）。

佐藤さんは、2024年に青森県八戸市にて開催される日本病院薬剤師会東北ブロック第13回学術大会において優秀ポスター賞受賞者シンポジウムに登壇する予定である。



受賞した佐藤翼さん



授与式の様子

キャンパスの 風景

さくらさくらさくら咲き初め咲き終わりになにもなかったような公園

俵万智

「花といえば桜」を指すように、桜は日本を代表する花である。古くから日本人に親しまれ、『古事記』『日本書紀』にも記述が確認できる。桜が春の花を代表するようになるのは平安時代からで、『古今集』では多くの歌に詠まれている。紫宸殿の「左近の桜」も当初は梅であったが、枯れた際には桜へ植え替えられた。散り際の美しさを称えるようになったのは、鎌倉・室町期以降である。また、花見が庶民の行楽になったのは江戸時代からのことであり、その頃から園芸品種も多く作られるようになった。大正初年、東京市長の尾崎行雄がアメリカに寄贈した苗はポトマック河畔に植えられ、ワシントンの桜の名所になっている。

日本には、ヤマザクラ、オオシマザクラ、エドヒガンなど十種ほどの自然種を基本に、変種・品種合わせて百種以上がある。平安期から観賞用に栽培もされ、現在最も一般的なソメイヨシノは江戸末期に染井村（現在の東京都豊島区駒込）の植木屋から広まった。

桜は、三百六十五日という時間を使って力を蓄え、春に白や淡紅の五弁花をいっせいに開花させる。そのようにして咲いた花だからこそであろうか、咲き満ちた花の生む影と彩、ゆるる花の波、花の雲めく様など、桜の風情は懐しく麗しい。時代の中で、どのような「自分という花」を咲かせるか、このキャンパスで考えてみるのも面白い。

(撮影・文 本多真史)



表紙の写真

学校法人晴川学舎 2022年度決算報告

1. 資金収支計算書

(単位：円)

| 科 目 | | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|------|------------|---------------|---------------|---------------|
| 収入の部 | 学生生徒等納付金収入 | 2,543,770,000 | 2,416,948,600 | 126,821,400 |
| | 補助金収入 | 344,876,000 | 404,954,000 | △ 60,078,000 |
| | その他の収入 | 2,637,571,000 | 1,827,537,394 | 810,033,606 |
| | 前年度繰越支払資金 | 846,763,739 | 846,763,739 | 0 |
| | 収入の部合計 | 6,372,980,739 | 5,496,203,733 | 876,777,006 |
| 支出の部 | 人件費支出 | 2,495,455,000 | 2,220,903,527 | 274,551,473 |
| | 教育研究経費支出 | 2,100,974,000 | 1,550,992,639 | 549,981,361 |
| | その他の支出 | 889,284,000 | 542,591,062 | 346,692,938 |
| | 翌年度繰越支払資金 | 887,267,739 | 1,181,716,505 | △ 294,448,766 |
| | 支出の部合計 | 6,372,980,739 | 5,496,203,733 | 876,777,006 |

2. 事業活動収支計算書

(単位：円)

| 科 目 | | 予 算 | 決 算 | 差 異 |
|---------------|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | | | |
| | 学生生徒等納付金 | 2,543,770,000 | 2,416,948,600 | 126,821,400 |
| | 経常費等補助金 | 344,876,000 | 404,954,000 | △ 60,078,000 |
| | その他の収入 | 790,312,000 | 815,115,151 | △ 24,803,151 |
| | 教育活動収入計 | 3,678,958,000 | 3,637,017,751 | 41,940,249 |
| | 事業活動支出の部 | | | |
| | 人件費 | 2,455,281,000 | 2,256,757,789 | 198,523,211 |
| | 教育研究経費 | 2,461,947,000 | 1,878,951,746 | 582,995,254 |
| | その他の支出 | 436,478,000 | 280,021,119 | 156,456,881 |
| | 教育活動支出計 | 5,353,706,000 | 4,415,730,654 | 937,975,346 |
| 教育活動収支差額 | △ 1,674,748,000 | △ 778,712,903 | △ 896,035,097 | |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | | | |
| | 受取利息・配当金、その他収入 | 29,501,000 | 27,543,925 | 1,957,075 |
| | 教育活動外収入計 | 29,501,000 | 27,543,925 | 1,957,075 |
| | 事業活動支出の部 | | | |
| | 借入金等利息、その他支出 | 0 | 0 | 0 |
| 教育活動外支出計 | 0 | 0 | 0 | |
| 教育活動外収支差額 | 29,501,000 | 27,543,925 | 1,957,075 | |
| 経常収支差額 | △ 1,645,247,000 | △ 751,168,978 | △ 894,078,022 | |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | | | |
| | 資産売却差額、その他収入 | 500,000 | 5,537,523 | △ 5,037,523 |
| | 特別収入計 | 500,000 | 5,537,523 | △ 5,037,523 |
| | 事業活動支出の部 | | | |
| | 資産処分差額、その他支出 | 0 | 85,811,921 | △ 85,811,921 |
| 特別支出計 | 0 | 85,811,921 | △ 85,811,921 | |
| 特別収支差額 | 500,000 | △ 80,274,398 | 80,774,398 | |
| [予備費] | 0 | | 50,000,000 | |
| 基本金組入前当年度収支差額 | △ 1,694,747,000 | △ 831,443,376 | △ 863,303,624 | |

3. 貸借対照表

(単位：円)

| 科 目 | | 本年度末 | 前年度末 | 増 減 | |
|-------------|----------------|-----------------|-----------------|-------------|-------------|
| 資産の部 | 固定資産 | 27,601,119,726 | 28,242,040,319 | △ | 640,920,593 |
| | 有形固定資産 | 8,494,081,586 | 8,859,391,772 | △ | 365,310,186 |
| | 土地 | 1,677,877,442 | 1,677,877,442 | | 0 |
| | 建物 | 3,782,469,566 | 4,036,751,639 | △ | 254,282,073 |
| | 教育研究用機器備品・図書他 | 3,033,734,578 | 3,144,762,691 | △ | 111,028,113 |
| | 特定資産 | 19,095,323,367 | 19,371,421,774 | △ | 276,098,407 |
| | 減価償却引当特定資産 | 9,562,161,451 | 9,793,247,633 | △ | 231,086,182 |
| | 第2号基本金引当特定資産他 | 9,533,161,916 | 9,578,174,141 | △ | 45,012,225 |
| | その他の固定資産 | 11,714,773 | 11,226,773 | | 488,000 |
| | 流動資産 | 2,482,772,749 | 2,771,998,067 | △ | 289,225,318 |
| 現金預金 | 1,181,716,505 | 846,763,739 | | 334,952,766 | |
| 未収入金他 | 1,301,056,244 | 1,925,234,328 | △ | 624,178,084 | |
| 資産の部合計 | 30,083,892,475 | 31,014,038,386 | △ | 930,145,911 | |
| 負債の部 | 固定負債 | 1,136,710,254 | 1,100,855,992 | | 35,854,262 |
| | 退職給与引当金 | 1,136,710,254 | 1,100,855,992 | | 35,854,262 |
| | 流動負債 | 464,788,627 | 599,345,424 | △ | 134,556,797 |
| | 未払金 | 135,393,678 | 155,510,822 | △ | 20,117,144 |
| | 前受金他 | 329,394,949 | 443,834,602 | △ | 114,439,653 |
| 負債の部合計 | 1,601,498,881 | 1,700,201,416 | △ | 98,702,535 | |
| 純資産の部 | 基本金 | 30,443,476,067 | 30,345,308,577 | | 98,167,490 |
| | 繰越収支差額 | △ 1,961,082,473 | △ 1,031,471,607 | △ | 929,610,866 |
| | 純資産の部合計 | 28,482,393,594 | 29,313,836,970 | △ | 831,443,376 |
| 負債及び純資産の部合計 | | 30,083,892,475 | 31,014,038,386 | △ | 930,145,911 |

新任教授紹介



歯学部 歯科補綴学講座
教授 高津 匡樹

本年4月1日付けで歯学部教授（歯科補綴学講座担当）を拝命いたしました。この場をお借りして、皆様方にご挨拶

申し上げます。

もともと横浜の出身ですが、1987年に東北大学に入学してから20年の間は仙台にいました。その後、2007年に日本大学歯学部に移り、昨年までの16年間を東京で過ごしています。そして、このたび、仙台と同じ東北の地という縁もあり、ここ郡山で新たな一歩を踏み出すことになりました。弓なりに長い日本列島で、東日本を南北に行き来しています。

東北大学では加齢歯科学分野、日本大学では歯科補綴学第I講座に所属していました。いずれ

も全部床義歯学や顎機能学を専門とする講座で、その一員として教育、研究そして臨床に携わってきました。このたびの就任に際して、特に教育面の充実について仰せつかりました。まずは担当する教科の教育をさらに充実させ、CBTや国家試験に合格できるための知識や能力を、学生が習得できるよう努めます。

本学での担当教科は有床義歯学です。これまでの全部床義歯学に加えて、新たに部分床義歯学も担当することになりました。歯と顎堤を治療の対象とする部分床義歯学は、顎堤だけを対象とする全部床義歯学よりも理論的に難しい教科です。本格的な講義と実習を前に、身の引き締まる思いです。

ポッセルトの図形でご存じの顎機能学は、補綴学総論として基礎系教科と補綴臨床の架け橋になっています。国家試験でも頻出されますが、直接見ることができない下顎頭の動きを含む、下顎の三次元的な運動が理論の中心であるため、

学生が理解しにくい領域です。同じ補綴の冠矯正義歯と協力しながら、基礎系科目と連携を図り、効果的な授業を構築したいと考えています。

近年の少子化やゆとり教育の影響もあり、新入学生の質は変化しているようです。また、歯科医師国家試験の難易度も年々高くなっています。そのため、同じ教科であっても、時代や学生に合わせて、教育の内容や方法を変えていくことが肝要と感じています。地方の国立と都心の私立という、両極端に位置する大学で培った教育経験を活用し、対応したいと思います。

共用試験や国家試験の合格に向けた学力向上はもちろんのことですが、人間性豊かな歯科医師を育成するため、当講座の教員とともに日々学生教育に努め、さらには臨床や研究面においても奥羽大学の発展に貢献できるよう尽力する所存です。何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



薬学部 生物・衛生化学分野
教授 須藤 遥

本年4月1日、薬学部教授(生物・衛生化学分野)を拝命いたしました。

本学には、昨年末の薬学部[生化学：教授]公募に応募いたし、採用していただきましたご縁で参りました。それ以前は、医学部、歯学部、看護学部、理学療法学部など、医療に携わろうとされる、様々な学生さんをお教えして参りました。薬物は、現代医療の中心的存在であり、疾病の治療手段として侵襲性も概して少なく、奥深く、非常に興味深い分野であるかと存じております。今回着任いたしましたして、今まで教員として経験いたしました他のどの医療関連学部とも違いを感じ、深く感銘いたしております。そのような薬学部にも、微力ですが、お役に立てましたら、幸いです。また、郡山という場所は、私の科学者としての恩師が、小学生時代を過ごされた土地とうかがいました。福島県中通りの中心地であり、のんびりしていますが、地の利に優れ、良い場所とうかがいました。そのような良い環境で、教育・研究に従事させていただけることは、これまでの私の体験にございません、幸せなことでございます。本学の発展に、私のこれまでの経験を活かし、貢献できますよう精進して参る所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

同窓生のひろば



今井 邦彦 (歯学部30期生)

こんにちは。30期卒業・ダイヤモンド今井デンタルクリニックのダイヤモンド今井院長今井邦彦です。

2020年大阪堀江で前歯のセラミック矯正専門のクリニックを開業いたしました。

私がここ十数年の間、こだわっていることは『知ってもらう』ということです。

2011年から2020年まで勤務した湘南美容グループにて集客について多くのことを学ぶ機会に恵まれました。ブランディング、発信力を身に付けることがグループ内で頭角を現すために必須だと感じ、開業後、今日に至るまで実践、アップデートし続けております。

具体的には私自身は全ての歯をセラミックにしていること。仮着の前歯のセラミックに文字を入れて、入れ替えて注目していただくこと。

湘南美容グループは大規模医療グループでしたのでテレビ、ラジオ、交通広告、テレビCMなどで医療関係者では奇抜な私の認知周知を高めることもできました。またSNSの活用は『知ってもらう』ことには必要不可欠で、2011年のフェイスブック、アメブロから始まり2015年からインスタグラムで拡散力を加速していきました。

2023年の今はインスタグラム、TikTok、YouTubeにて1日10投稿以上を心がけております。

ポイントはしっかりと症例写真、動画を上げ続ける。テーマを絞って投稿する。

わかりやすいキャラクターとして自己を表現することだと考えております。

SNSのプラットフォームは常に変化、進化しております。

またSNSに変わる『知ってもらう』も今後は必ず出てくると考えております。

変化についていく柔軟な姿勢。必要と感じたリスクは恐れず、そして『知ってもらう』姿勢、行動を止めないことを常に念頭におき取り組んでまいります。



岩崎 浩光 (文学部9期生)

早いもので本学を卒業して25年になります。現在は、地元盛岡市の美容室CLOVER hair (クローバーヘア)のオーナーをしています。

同期の友人達は、全国各地で生活しており、残念ながらなかなか直接会う機会がありません。しかしながら毎年3.11には、リモートにて集まり、学生時代の思い出話に花が咲きます。

さらに先日は、所属していたスキー部の先輩の祝い事により、郡山や本学キャンパスを20年ぶりに訪れることができ、懐かしさのあまり涙がでてきた次第です。

在学中の思い出のひとつとしては、学園祭があげられます。幼い頃から憧れていた“華の大学生活”といった感じで目一杯楽しめました。

卒業後は、本学の充実した英語教育のもと身につけた英語力を活かし、海外スキーツアー旅行会社に就職しました。多くの世界有数のスキーリゾートに足を運べたのは、本当に貴重な体験です。

その後、東京にて美容師を志し、今は地元の岩手県盛岡市に帰郷し、小さな美容室を経営しております。

おかげさまで楽しく仕事、子育て、時々ゴルフなど充実した毎日を送っております。

現在も福島県出身者のみならず、奥羽大学出身者の方も、美容室のお客様としてご来店頂いており、郡山や本学の話が直接できるのは、とても楽しいひとときです。

素晴らしい大学生活を送れたのも、良き先生方、先輩方、友人達、後輩達に恵まれたおかげだと心から感謝しております。郡山や本学での思い出は、25年経った今でも色褪せず、私を一瞬で初心に返らせてくれる最高の思い出です。

奥羽大学学長裁量経費

本学では「学長裁量経費」を設けて、教員の研究活動を積極的に支援している。今年は特に若手教員・中堅教員の研究活動を対象として、「若手研究」と「基盤研究」の2つの研究項目による募集を行った。応募総数は過去最多であり、厳正な審査で選ばれた16件の研究課題に対して、学長裁量経費が交付された。審査は申請書の内容、応募者の過去3年間の筆頭著者・責任著者としての論文数、科研費の採択状況等を総合的に判断して行われた。また、交付額は傾斜配分とすることで、研究能力の高い教員による優れた研究に対して手厚く支援した。

科研費申請書のブラッシュアップ

科学研究費助成事業(科研費)は、競争的外部研究金の中で最も重要なものであり、その採択率は大学の研究力の評価に使用されている。歯学部では採択率の向上を目指して、科研費採択促進委員会を組織して活動を行っている。具体的には、申請を希望する教員が書いた科研費申請書を、研究業績に富み、科研費の採択経験のある教員がブラッシュアップするものである。この活動を10年以上続けた結果、申請書の記載形式及び内容の大幅な改善が行われた。そのため、現在では科研費の審査委員に好印象を与えることができる申請書を目指して、高いレベルでのブラッシュアップを行っている。本年も昨年同様、8月にブラッシュアップをするための準備が科研費採択促進委員会によって進められている。

人事

<指定職>

| | | | |
|-------|------|-----|-------|
| 押尾 茂 | 薬学部長 | 薬学部 | 4月1日付 |
| 柏木 良友 | 学生部長 | 薬学部 | 〃 |
| 小林 初夫 | 図書館長 | 図書館 | 〃 |

<任用>

| | | | |
|--------|----|--------|-------|
| 高津 匡樹 | 教授 | 歯科補綴学 | 4月1日付 |
| 風間 咲美 | 教授 | 総合臨床医学 | 〃 |
| 佐藤 光 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 影山 直 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 神山 巧 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 嶋田 伊吹 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 高橋 泰我 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 高橋 晃司 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 中瀬 由希 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 若松 慶一郎 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 永井 春菜 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 鳥崎 尚弥 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 山崎 翠 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 倉品 先秀 | 助手 | 生体材料学 | 〃 |
| 高野 真澄 | 教授 | 薬学部 | 〃 |
| 須藤 遥 | 教授 | 薬学部 | 〃 |
| 畠山 靖子 | 講師 | 薬学部 | 〃 |

<任用更新>

| | | | |
|--------|-----|--------|-------|
| 佐藤 穂子 | 講師 | 歯科保存学 | 4月1日付 |
| 松本 知生 | 講師 | 歯科補綴学 | 〃 |
| 斎藤 昇太郎 | 講師 | 生体材料学 | 〃 |
| 南 健太郎 | 講師 | 口腔衛生学 | 〃 |
| 千葉 駿一郎 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 神庭 一郎 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 大友 悠資 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 内田 光洋 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 奈田 憲二 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 西 祐也 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 鈴木 琢矢 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 笹谷 哲郎 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 神庭 優衣 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 赤穂 麗子 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 渡部 剛史 | 助手 | 放射線診断学 | 〃 |
| 佐久間 勉 | 教授 | 薬学部 | 〃 |
| 守屋 孝洋 | 教授 | 薬学部 | 〃 |
| 古泉 博之 | 准教授 | 薬学部 | 〃 |
| 杉野 雅浩 | 講師 | 薬学部 | 〃 |
| 熊谷 文哉 | 助教 | 薬学部 | 〃 |

<昇任>

| | 新 | 旧 | |
|--------|-----|-----|-------|
| 川原 一郎 | 教授 | 准教授 | 4月1日付 |
| 川鍋 仁 | 教授 | 准教授 | 〃 |
| 玉井 利代子 | 教授 | 准教授 | 〃 |
| 前田 豊信 | 教授 | 准教授 | 〃 |
| 遊佐 淳子 | 教授 | 講師 | 〃 |
| 鈴木 海路 | 講師 | 助教 | 〃 |
| 神林 直大 | 講師 | 助教 | 〃 |
| 森山 光 | 講師 | 助教 | 〃 |
| 木村 祐輝 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 橋原 楓 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 澤 弘平 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 田中 真帆 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 浅倉 卓弥 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 北村 裕紀 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 宗像 恭史 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 吉沢 大樹 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 中川 雄介 | 助教 | 助教 | 〃 |
| 大原 宏司 | 准教授 | 講師 | 〃 |
| 斎藤 恵美 | 助教 | 助教 | 〃 |

<再任用>

| | 新 | 旧 | |
|-------|----|----|-------|
| 大野 敬 | 教授 | 教授 | 4月1日付 |
| 清浦 有祐 | 教授 | 教授 | 〃 |
| 瀬川 洋 | 教授 | 教授 | 〃 |
| 佐藤 研 | 教授 | 教授 | 〃 |

<定年・再任用>

| | | | |
|-------|----|-----|--------|
| 木村 裕一 | 教授 | 准教授 | 3月31日付 |
| | 教授 | 准教授 | 4月1日付 |

<昇格>

| | 新 | 旧 | |
|-------|------|------|-------|
| 駒谷 成美 | 係長 | 事務職員 | 4月1日付 |
| 内山 明子 | 院務主任 | 事務職員 | 〃 |
| 馬場 睦月 | 主務主任 | 事務職員 | 〃 |
| 鈴木 貴子 | 主務主任 | 事務職員 | 〃 |
| 佐藤 康汰 | 主務主任 | 事務職員 | 〃 |

<採用>

| | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 鈴木陽菜多 | 事務職員 | 総務部 | 4月1日付 |
| 矢野葵 | 事務職員 | 学事部 | 〃 |
| 渡部笑咲 | 事務職員 | 学事部 | 〃 |
| 本田光恵 | 歯科技工士 | 病院医療部 | 〃 |
| 紺野麗奈 | 歯科衛生士 | 病院医療部 | 〃 |
| 栗林優羽 | 歯科衛生士 | 病院医療部 | 〃 |
| 後藤美穂 | 歯科衛生士 | 病院医療部 | 〃 |
| 結城亜美 | 歯科衛生士 | 病院医療部 | 〃 |

<再雇用>

| | | | |
|-------|-----------|-------|-------|
| 角田貞伴 | 技術職員(課長) | 総務部 | 4月1日付 |
| 田巻勝幸 | 警備職員 | 総務部 | 〃 |
| 原田清子 | 労務職員 | 総務部 | 〃 |
| 宇佐見正 | 技術職員(主任) | 学事部 | 〃 |
| 佐藤道子 | 事務職員 | 学事部 | 〃 |
| 影山利夫 | 事務職員 | 学事部 | 〃 |
| 御代田明彦 | 歯科技工士(係長) | 病院医療部 | 〃 |
| 石河達雄 | 歯科技工士 | 病院医療部 | 〃 |
| 馬場マキ子 | 看護師 | 病院医療部 | 〃 |

<異動>

| | | | |
|-------|----|----|-------|
| 鈴木史彦 | 教授 | 教授 | 4月1日付 |
| 北條健太郎 | 講師 | 講師 | 〃 |
| 山家尚仁 | 講師 | 講師 | 〃 |

<異動・兼務>

| | | | |
|------|-------|----------|-------|
| 佐藤夏美 | 事務職員 | 事務職員(係長) | 4月1日付 |
| | 総務部 | 総務部 | |
| | 病院事務部 | | |

<退職>

| | | | |
|-------|---------|--------|--------|
| 杉田俊博 | 教授 | 附属病院 | 3月31日付 |
| 馬場優 | 教授 | 総合臨床医学 | 〃 |
| 佐々木重夫 | 准教授 | 歯科保存学 | 〃 |
| 松本英莉 | 助教 | 生体材料学 | 〃 |
| 船川竜生 | 講師 | 歯科補綴学 | 〃 |
| 盛植泰輔 | 講師 | 歯科補綴学 | 〃 |
| 川嶋雅之 | 講師 | 口腔外科学 | 〃 |
| 黒田栄子 | 講師 | 成長発育歯学 | 〃 |
| 新妻歩実 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 宇治川竜也 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 金子華菜子 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 茂呂有司 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 原千晶 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 山崎北斗 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 玉野井喬 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 関口雅也 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 石橋奈美 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 小松憲明 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 金子正慶 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 小杉敏之 | 助教 | 附属病院 | 〃 |
| 長谷川祐 | 助手 | 附属病院 | 〃 |
| 衛藤雅昭 | 教授 | 薬学部 | 〃 |
| 早坂正孝 | 教授 | 薬学部 | 〃 |
| 竹元万壽美 | 教授 | 薬学部 | 〃 |
| 村山留美 | 助手 | 薬学部 | 〃 |
| 安藤勝 | 図書館長 | 図書館 | 〃 |
| 長谷川康明 | 係長 | 学事部 | 〃 |
| 國分紗也 | 事務職員 | 学事部 | 〃 |
| 円谷敦子 | 係長 | 病院事務部 | 〃 |
| 齋藤逸美 | 歯科技工士 | 病院医療部 | 〃 |
| 佐藤小百合 | 歯科衛生士主任 | 病院医療部 | 〃 |
| 赤瀬エリカ | 歯科衛生士 | 病院医療部 | 〃 |
| 入澤美砂 | 歯科衛生士 | 病院医療部 | 〃 |
| 穴沢文枝 | 看護師 | 病院医療部 | 4月30日付 |

最大6年間
学費
フルサポート
返納義務無し

給付型 特待生 制度

キミのやる気と実力を存分に活かしてほしい。
医療人としての人生をここから始めよう。
人間性豊かな歯科医師、薬剤師になるために。

歯学部

薬学部



奥羽大学 歯学部 薬学部

TEL. 024-932-9055 (歯学部)

TEL. 024-932-8995 (薬学部)

〒963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
FAX. 024-933-7372 E-mail: info@ohu-u.ac.jp

奥羽大学 検索 www.ohu-u.ac.jp

奥羽大学 姉妹校 東北歯科専門学校

歯科衛生士科 歯科技工士科